

【テーマ】 協同出版株式会社

「教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業
(教員採用選考試験の複数回実施を想定したモデル問題の開発)」

調査の概要

◆課題認識

・主に大学3年生を対象とした教員採用試験における「思考力、判断力、表現力等」を問う良質な問題を、主に教職教養でどのようにするかが課題

◆調査研究の目的

・「思考力、判断力、表現力等」を測る良質な問題の作成

◆調査研究の方法

・全国の良問より問題構成を検討する。

◆調査研究

・文部科学省様、各教育委員会担当者様の意見を反映した問題を作成する。

◆現状

・現状の教職・一般教養の問題において、特に教職教養は知識問題となりがちである。教職教養では思考力、判断力、表現力等を問う問題の作成が非常に難しい。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ① 全国の出題傾向から出題分野、問題内容の構成を検討し、その各領域の内容で、「思考力、判断力、表現力等」を問う内容の問題にするか。
- ② 一般教養において、英語、数学、理科、社会の分野で構成し、幅広い内容で「思考力、判断力、表現力等」を問う。

◆成果

対象が主に大学3年生ということ意識し、難易度のある程度調整する必要があり、選択肢文による問題、穴埋めの組み合わせによる問題等を組み合わせた。

実際に令和6年12月15日(日)の同一試験日で本事業で作成した問題を使用した。

今後の課題

今回の問題と今後の課題

- ・今回の試験問題の作成は、小学校受験者を対象としたものに限らず、中学校、高等学校等の志望者も対象にするものとなった(学習指導要領の問題を校種別化)。また、受験者も大学3年生に限らないケースもあった。
- 今後、学習段階の幅広い受験者を対象とする問題のさらなる検討が必要と考える。